

活動アップデート+

ISEPA代表
与儀大輔，CISSP

アジェンダ

- ISEPA活動アップデート
- 米国発金融不況の影響
- 第2次基本計画ピックアップ

相互認証WG メンバー紹介

(ISC) ² Japan	杉本 毅
ISACA東京支部	小川 和博
JASA	永宮 直史
NRIセキュアテクノロジーズ	関取 嘉浩
JNSA	やすだ なお
ラック	与儀 大輔
CompTIA Japan	板見谷 剛史
ひょうご情報教育機構	松浦 幸浩
SEA/J	松村 智恵子
ソフトピア	木寺 秀洋
リコー・ヒューマン・クリエイツ	新井 是昭
JRCA	本間 秀明
ISSA 東京支部	塩見 友規

- 活動概要

- 相互認証の状況確認と方向性検討
 - 資格保有者数の定期的調査
 - IISEC等教育機関への提案検討

- 成果

- 資格保有者数の定期的調査の公開四半ごと（初回2月末、6月、9月）

【ISEPA加盟団体のセキュリティ資格保有者一覧】

団体名	資格名	保持者数(国内)	保持者数(全世界)
ISACA	CISA	1,890	-
	CISM	201	-
SANS	GIAC	-	22,984
CompTIA	Security+	-	50,000
(ISC)2	CISSP	1,058	59,776
SEA/J	CSEM	4,408	-
	CSPM-T	481	-
JASA	CSPM-M	356	-
	公認情報セキュリティ主任監査人	70	-
	公認情報セキュリティ監査人	170	-
	情報セキュリティ監査人補	223	-
JRCA	情報セキュリティ監査アドバイザー	210	-
	ISMS審査員	215	-
	ISMS審査員補	3,694	-
	ISMS主任審査員	326	-

詳細はこちらをご参照ください [▶](#)

イベントWG メンバー紹介

(ISC) ² Japan	杉本 毅
CompTIA Japan	吉村 睦美
JASA	高橋 さぎり
JASA	勝見 勉
リコー・ヒューマン・クリエイツ	飯塚 敏彦
ラック	千明 志乃
KKC	小柴 宏記
SEA/J	松村 智恵子
ISACA	堀越 繁明
JNSA	林 よしこ（特別協力）

- **活動概要**
 - ISEPAウェブサイトの構築と運営
 - ブログの管理
 - ISEPAイベントの企画 / 運営
- **成果**
 - ISEPAウェブサイトのリニューアル
 - 各団体資格保持者数の公開
 - イベントの開催
- **今後の活動**
 - 今年度活動の継続
 - 「情報セキュリティ人財育成便覧」の発行

スキルWG メンバー紹介

人材育成マップ (MP) チーム

衣川 俊章	(ISC)2 Japan
安田 良明	CES
塩見 友規	ISSA
村上 晃	ラック
松村 智恵子	SEA/J
加藤 智之	富士通
清水 猛	ラック
小林 浩史	NTTラーニングシステムズ
永島 昌和	日本ベリサイン
千葉 寛之	日立製作所
正木 健介	セコムトラストシステムズ
田中 大介	NRIセキュアテクノロジーズ
菱川 尚	日立電子サービス
榎原 盛史	シスコシステムズ

フレームワーク (FW) チーム

長谷川 長一	ラック
板見谷 剛史	CompTIA日本支局
関取 嘉浩	NRIセキュアテクノロジーズ
やすだ なお	JNSA
小林 浩史	NTTラーニングシステムズ
小川 和博	ISACA
清水 猛	ラック
柏浦 謙一	日本ユニシス
森竹 由美子	日本ユニシス
北川 隆一	パナッシュ
鈴木 弘之	富士通ソーシアルサイエンスラボラト
大林 正英	JPCERT/CC
永島 昌和	日本ベリサイン
千葉 寛之	日立製作所
榎原 盛史	シスコシステムズ
小林 佑光	SEA/J

- 集合しての活動回数： 17回
- 活動概要：
 - 情報セキュリティ人財アーキテクチャ作成
 - スタープロジェクト支援
 - ISEPAイベントでのBoF、パネルディスカッション計画、実施
- 成果：
 - 人財アーキテクチャの第1版完成
 - スタープロジェクト対象者の教育受講、資格取得推進

今後の活動予定

- 情報セキュリティ人財アーキテクチャの改定・改善
 - 人材マップの精度向上
 - 職種の追加
 - 業務、スキル項目の追記、修正－JNSAのSecBok最新版との整合性
 - 組織モデルのケース追加作成
 - 上記変更などのキャリアマップへの反映
- 情報セキュリティ人財アーキテクチャ活用の実証実験
 - 運用、評価スキームの確立に向け、組織や個人の方々に参画いただく形で、実証実験を展開
 - 実験結果のアーキテクチャ自体への反映&運用・評価指標の確立

セキュリティ業界の人財育成に思いのある50名以上の皆様がボランティアで協力して下さっています。

ご協力ありがとうございます。

アジェンダ

- ISEPA活動アップデート
- 米国発金融不況の影響
- 第2次基本計画ピックアップ

米国金融不況がIT業界に与える影響

IPA/JETROニューヨークだより2008年11月より <http://www.ipa.go.jp/about/NYreport/200811.pdf>

産業別に見た IT 投資額と IT 人材雇用数¹³ 2006年度調査

産業	GDP 単位10億ドル	IT 投資額		IT 技術者数	
		単位100万ドル	対 GDP	単位:千人	対従業員数
情報	598.8 (4.5%)	62,679 (25.0%)	10.5%	407.9 (12.8%)	13.5%
金融保険	1093.7 (8.3%)	48,423 (19.3%)	4.4%	308.3 (9.7%)	5.1%
製造業	1549.7 (11.7%)	34,909 (13.9%)	2.3%	270.2 (8.5%)	1.9%
専門サービス	925.3 (7.0%)	25,858 (10.3%)	2.8%	1048.6 (32.9%)	13.9%
医療福祉	901.4 (6.8%)	19,038 (7.6%)	2.1%	82.9 (2.6%)	0.5%
小売	848.0 (6.4%)	14,767 (5.9%)	1.7%	59.8 (1.9%)	0.4%
卸売	762.2 (5.8%)	8,011 (3.2%)	1.1%	167.0 (5.2%)	2.8%
その他民間	4866.4 (36.9%)	37,088 (14.8%)	0.8%	622.8 (19.5%)	1.2%
政府	1649.2 (12.5%)	-	-	223.6 (7.0%)	2.3%
合計	13194.7 (100%)	250,693 (100%)	2.1%	3191.4 (100%)	2.4%

金融保
健に従
事するIT
技術者
30万人
以上

米国主要金融企業の IT 経費¹⁴

2007年度調査 /単位100万ドル	非利息経費 ¹⁵	人件費	IT 経費 ¹⁶	従業員数
Citigroup	61,488	34,435 (56.0%)	4,553 (7.4%)	37.4 万人
Bank of America	37,010	18,754 (50.7%)	2,975 (8.0%)	21 万人
JP Morgan Chase	41,703	22,689 (54.4%)	3,779 (9.1%)	20 万人
Goldman Sachs	28,383	20,190 (71.1%)	665 (2.3%)	3.1 万人
Morgan Stanley	24,585	16,552 (67.3%)	1,193 (4.8%)	5.5 万人
Merrill Lynch	24,081	15,903 (66.0%)	2,057 (8.5%)	6.4 万人

IT (通信を含む)
に関しては、各社
とも、毎年、概ね
数10 億ドル規模
の投資

米国金融不況がIT業界に与える影響

IPA/JETROニューヨークだより2008年11月より

< IT 需要(市場)の視点 >

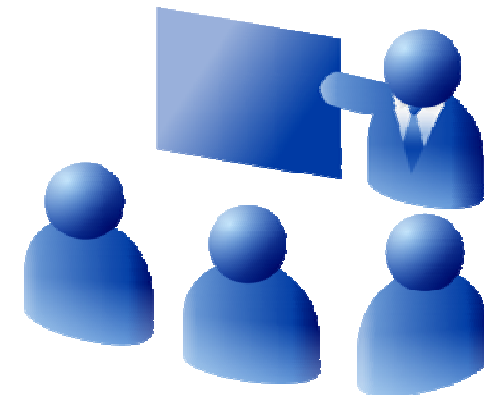
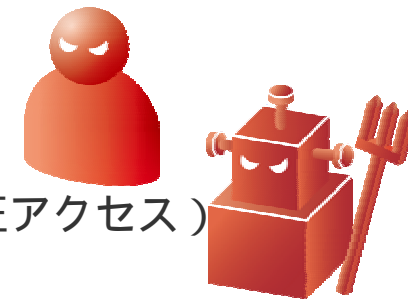
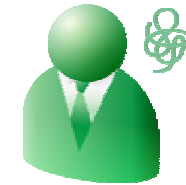
- 需要の視点で見た場合、一つには、**短期的には**、業績悪化に伴い、金融機関による**IT需要が収縮する可能性**が指摘される。
- 一方、**長期的に見た場合**、今回の再編や今後想定される新たな規制枠組みの中で、金融企業が競争力を確保していくためには、将来的に、**システムの統一化、新たなシステム導入などを進める必要**があるとの指摘もある。

< IT 関連の構造変化の視点 >

- 今回の金融業界の業績悪化及び再編に伴い、**短期的には**、**金融企業内で雇われていたIT関係の人材についても**、**流動化**しつつあり、また、コアの部分に集中すべく、一部のIT関連の組織や業務を外部に放出する動きもある。
- 一方、**長期的には**、これらの**人材の拡散や組織の見直し**が、IT業界にも影響を与える可能性がある。

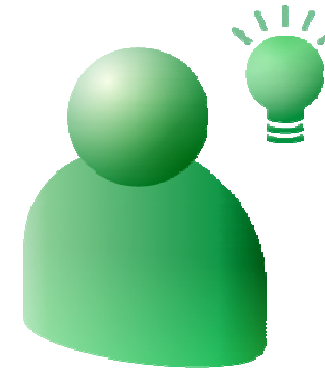
セキュリティ業界に与える影響

- IT投資、需要の落ち込み
より一層のコスト削減・効率化が求められる
CIO、CSOの負担の増加（増築してきたセキュリティの見直し）
- セキュリティ企業の大型化・総合化
顧客ニーズは部分最適ではなく全体最適 + コストダウン
点の防御から面の防御へ
- リストラなどによるIT犯罪の増加の懸念
興味半分の悪戯からスパイ型攻撃などへ
（クレジットカード情報など、換金性の高い情報への不正アクセス）
攻撃（不正アクセス）に国境は無い
- トップの「おい、やっておけ！」で対応出来るのか？
教育によるセキュリティ共通言語の確立
国際的に通用する人財育成への留意
有効な教育（予算）と有資格者の確保



不況の時こそ新3Kを

- 雇用確保
- 研究開発
- 教育啓発(気付き)



アジェンダ

- ISEPA活動アップデート
- 米国発金融不況の影響
- 第2次基本計画ピックアップ

NISC発行

「第2次情報セキュリティ基本計画」の下での政策推進及び

「第2次情報セキュリティ基本計画(案)」についてより

http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/kihon_pl2_draft_gaiyou.pdf

- 第2次基本計画の基本的考え方
基本目標の実現に向けた取組み **官民の各主体が適切な役割分担を果たす**
「新しい官民連携モデル」 + (対策実施側のみならず) 情報提供側も視野に入れた取組みの推進
- 取組を行う政策領域
技術面での対応から制度面、人的側面の対応まで視野に入れた取組み (技術開発から**人材育成のような側面まで幅広く取組みを進める**)
国内における対策の推進から、情報セキュリティ確保のために**国際的になされる活動も視野に入れた取組み (IT利用・活用においては国境を越えるのは当然となっており、国内の取組みと国際的な取組みを有機的に結びつけた取組みとする)**
- 3年間の主な重点政策 横断的事項
情報セキュリティ人材の育成確保
政府機関における人材の育成・確保
保有するスキルの見える化の推進

NISC発行

第2次情報セキュリティ基本計画(案)「IT時代の力強い「個」と「社会」の確立に向けて」より

http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/kihon_pl2_draft.pdf

P.60-50 (イ) 企業における情報セキュリティ人材の育成・確保(再掲)

経営層の情報セキュリティ対策への理解増進とともに、**企業の情報セキュリティ対策の推進を担う人材の育成・確保が必要不可欠**であることから、人材育成に向けたセミナー開催等の広報啓発を推進する。また、対策においては、新たなITの利用・活用など、環境の進化に柔軟に対応できる**人材や企業のマネジメント全体を俯瞰した上で判断できるスキルを持った人材などの育成・確保も必要不可欠**である。その際には、情報セキュリティ人材の目指すキャリアパスを考慮に入れることも重要である。こうしたことを踏まえ、**官民の適切な役割分担のもと、客観的な人材評価メカニズムである各スキル標準の整合化を図った共通キャリア・スキルフレームワークとそれに準拠した情報処理技術者試験の活用、及び民間の人材育成に関するフレームワークや各種資格試験の活用を促進する**。また、産学連携による高度情報セキュリティ人材を育成するためのカリキュラム整備や教員強化、インターンシップの充実等に取り組むための体制を整備する。また、**技術者向けの情報セキュリティに係るモデルキャリア開発計画の策定や専門家コミュニティへの支援を進めること**で、広く企業の情報セキュリティを担うことのできる人材の育成・確保に取り組む。さらに、今後の課題となるNGN/IPv6への移行などの新しい環境への移行に対応できる実践的な情報セキュリティ人材や法令遵守、情報資産や事業継続等に関するリスクを特定しつつ、情報セキュリティ対策を実践できる人材の育成を推進する。

NISC発行

第2次情報セキュリティ基本計画(案)「IT時代の力強い「個」と「社会」の確立に向けて」より

http://www.nisc.go.jp/active/kihon/pdf/kihon_pl2_draft.pdf

P.60 (ウ) 情報セキュリティ人材が保有する**スキル見える化の推進**

情報セキュリティ分野に人材を集め、高い能力を有する人材に支えられた情報セキュリティを構築するためには、長期的な視点から、情報セキュリティ人材が自らの能力を高めることが業務に結びつくようにし、**人材の側からキャリアパスを描くことができるようにすることが有効**である。このため、実際の業務において求められるスキルを明確にするとともに、人材が保有するスキルが外部からわかりやすくするための政策を実施する。例としては、**情報セキュリティ資格制度・教育制度と業務において求められるスキルや情報セキュリティ人材の目指すキャリアパスの関係を見えやすくするための取組みや、共通キャリア・スキルフレームワーク:ITS59や民間の人材育成における各種有効なフレームワークの活用**により、保有するスキルを外部に明示できる仕組みを構築する取組みが挙げられる。

まとめ

- 官民の適切な役割分担の下、セキュリティ人材のキャリアパスを明確にして、国際的に通用する人財の育成を継続することが重要です。
- パブコメへの意見提出をしましょう。
<http://www.nisc.go.jp/active/kihon/keikaku2.html>
- 情報セキュリティ人財育成アーキテクチャーを是非ご活用下さい。

ご清聴ありがとうございました。